



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日
東

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所
 コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 寺田 健志
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 植田 祥裕 (TEL) 06-6110-1560
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	53,026	0.7	4,952	14.7	5,190	5.8	3,191	△4.9
2019年3月期第2四半期	52,674	9.8	4,316	25.0	4,907	28.8	3,355	34.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,660百万円(△34.9%) 2019年3月期第2四半期 4,089百万円(△1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	136.24	119.83
2019年3月期第2四半期	147.77	125.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	111,046	67,839	61.1
2019年3月期	112,661	64,548	57.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 67,839百万円 2019年3月期 64,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2020年3月期	—	32.50			
2020年3月期(予想)			—	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	△2.7	9,600	1.2	10,200	1.5	6,800	0.1	294.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	26,731,415株	2019年3月期	26,090,580株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,002,442株	2019年3月期	3,001,554株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	23,421,818株	2019年3月期2Q	22,708,098株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しているものの、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速などにより、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、新中期経営計画「BRIGHT-2020」の2年目を迎え、引き続き、「新成長エンジンの創出」、「海外収益基盤の確立」および「事業構造改革の完遂」の3つの基本方針に基づき、具体的な施策をさらに進めました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、530億2千6百万円と前年同期比0.7%の増加となりました。また、利益面におきましては、営業利益は49億5千2百万円と前年同期比14.7%の増加、経常利益は51億9千万円と前年同期比5.8%の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億9千1百万円と投資有価証券評価損計上等の影響により前年同期比4.9%の減少となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<基礎化学品>

クロール・アルカリは、半導体・電子材料向け等の分野で需要の減少が見られましたが、総じて販売は堅調に推移し、売上高は増加しました。エピクロロヒドリンは、国内向けが堅調に推移するとともに、海外向けも中国の環境・安全規制強化の影響により販売数量が増加したため、売上高が増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は246億4千3百万円と前年同期比1.4%の増加となりました。

<機能化学品>

アリルエーテル類は、中国および欧州のシランカップリング剤用途向けで販売数量が伸び、売上高が増加しました。ダップ樹脂は、国内および欧州のUVインキ用途向け販売が順調に推移し、ホットスタンピング用途向けも販売数量が増加したため、売上高が増加しました。合成ゴム関連につきましては、エピクロロヒドリンゴムは中国およびインドの自動車生産台数減少の影響を受けましたが、アクリルゴムは国内外で新規顧客開拓および新規用途開発に注力し市場での採用がより一層拡大しました。

医薬品精製材料は、欧州並びに米国向けのペプチド医薬品精製用途向けを中心に需要が大幅に伸びたことに加え、液体クロマトグラフィー用カラム・分析装置事業では、韓国向けを中心に好調に推移しました。医薬品原薬・中間体は、国内向け感染症治療薬中間体および抗結核薬中間体の販売、海外向け血管拡張剤中間体の販売およびジェネリック医薬品原薬の輸入販売が拡大しました。また、高薬理活性設備を用いたジェネリック医薬品原薬の提供も順調に進みました。

一方で、カラーレジスト等液晶関連は、中国での液晶パネル向け販売数量が減少したため、売上高は減少しました。ガラスファイバーは、国内の電子材料向け販売数量が減少したため、売上高は減少しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は206億1千万円と前年同期比2.3%の減少となりました。

<住宅設備ほか>

生活関連商品の販売が好調に推移したため、住宅設備ほかの売上高は77億7千2百万円と前年同期比6.9%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、0.2%増加し683億3千3百万円となりました。これは、主として現金及び預金が26億4千万円、商品及び製品が3億7千万円、有価証券が2億9千9百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が30億9千6百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、3.9%減少し427億1千3百万円となりました。これは、主として投資有価証券が15億2千7百万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1.4%減少し1,110億4千6百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、13.3%減少し278億9千9百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が14億1千7百万円、1年内償還予定の新株予約権付社債が14億6千4百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、3.8%減少し153億7百万円となりました。これは、主として役員退職慰労引当金が4億1千2百万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、10.2%減少し432億7百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、5.1%増加し678億3千9百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、29億4千万円増加し273億1千6百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、54億6千3百万円の収入となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益が46億5千5百万円、減価償却費が17億6千1百万円、減少要因として法人税等の支払額が21億4千1百万円となったことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、15億9千2百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出18億2千1百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億7千1百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額が8億8百万円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,876	14,516
受取手形及び売掛金	29,268	26,171
電子記録債権	3,508	3,246
有価証券	12,499	12,799
商品及び製品	7,050	7,420
仕掛品	1,643	1,938
原材料及び貯蔵品	1,827	1,756
その他	685	622
貸倒引当金	△140	△140
流動資産合計	68,219	68,333
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	10,442	9,758
その他(純額)	11,520	12,263
有形固定資産合計	21,962	22,022
無形固定資産		
のれん	864	772
その他	474	428
無形固定資産合計	1,338	1,201
投資その他の資産		
投資有価証券	19,642	18,115
繰延税金資産	442	382
その他	1,062	997
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	21,141	19,489
固定資産合計	44,442	42,713
資産合計	112,661	111,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,586	14,168
短期借入金	7,767	7,767
未払法人税等	2,280	1,418
賞与引当金	889	899
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,464	—
その他	4,211	3,645
流動負債合計	32,197	27,899
固定負債		
新株予約権付社債	10,000	10,000
繰延税金負債	1,094	966
役員退職慰労引当金	651	239
退職給付に係る負債	3,009	2,981
その他	1,160	1,120
固定負債合計	15,915	15,307
負債合計	48,113	43,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,150	15,870
資本剰余金	13,667	14,387
利益剰余金	36,942	39,325
自己株式	△6,679	△6,681
株主資本合計	59,080	62,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,781	5,230
繰延ヘッジ損益	1	20
為替換算調整勘定	11	△3
退職給付に係る調整累計額	△327	△309
その他の包括利益累計額合計	5,467	4,936
純資産合計	64,548	67,839
負債純資産合計	112,661	111,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	52,674	53,026
売上原価	41,644	41,583
売上総利益	11,029	11,443
販売費及び一般管理費	6,713	6,490
営業利益	4,316	4,952
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	244	258
持分法による投資利益	18	20
為替差益	359	—
その他	52	120
営業外収益合計	683	402
営業外費用		
支払利息	54	48
為替差損	—	95
その他	37	21
営業外費用合計	92	164
経常利益	4,907	5,190
特別利益		
固定資産売却益	137	0
投資有価証券売却益	—	178
特別利益合計	137	179
特別損失		
固定資産除却損	209	83
投資有価証券評価損	—	375
関係会社株式評価損	—	251
その他	—	3
特別損失合計	209	713
税金等調整前四半期純利益	4,835	4,655
法人税、住民税及び事業税	1,670	1,302
法人税等調整額	△190	162
法人税等合計	1,479	1,464
四半期純利益	3,355	3,191
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,355	3,191

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,355	3,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	673	△551
繰延ヘッジ損益	68	18
為替換算調整勘定	△24	△15
退職給付に係る調整額	16	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	734	△530
四半期包括利益	4,089	2,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,089	2,660
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,835	4,655
減価償却費	1,778	1,761
のれん償却額	85	91
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	63	10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2	△412
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△35	△28
受取利息及び受取配当金	△252	△261
支払利息	54	48
為替差損益(△は益)	△217	43
固定資産除却損	209	83
固定資産売却損益(△は益)	△137	2
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	△178
関係会社株式評価損	—	251
売上債権の増減額(△は増加)	△971	3,328
たな卸資産の増減額(△は増加)	△918	△595
仕入債務の増減額(△は減少)	1,190	△1,387
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	—	375
持分法による投資損益(△は益)	△18	△20
その他	105	△382
小計	5,768	7,385
利息及び配当金の受取額	270	273
利息の支払額	△55	△54
法人税等の支払額	△1,326	△2,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,657	5,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,465	△1,821
有形固定資産の売却による収入	140	17
無形固定資産の取得による支出	△16	△3
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
投資有価証券の売却による収入	—	299
その他	△169	△73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,521	△1,592
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,113	—
長期借入金の返済による支出	△800	—
社債の償還による支出	—	△23
自己株式の取得による支出	△1,659	△2
配当金の支払額	△677	△808
その他	△30	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,280	△871
現金及び現金同等物に係る換算差額	185	△59
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,959	2,940
現金及び現金同等物の期首残高	23,993	24,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,034	27,316

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	24,314	21,092	7,267	52,674	—	52,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	31	257	296	△296	—
計	24,321	21,123	7,525	52,971	△296	52,674
セグメント利益	2,450	2,390	81	4,921	△605	4,316

(注) 1 セグメント利益の調整額△605百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	24,643	20,610	7,772	53,026	—	53,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	33	401	446	△446	—
計	24,656	20,643	8,173	53,473	△446	53,026
セグメント利益	2,621	2,702	215	5,539	△586	4,952

(注) 1 セグメント利益の調整額△586百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。